

私は小学四年生から自治会の行事ボランティアとして積極的に活動してきた。だが、今年には新型コロナウイルス感染症の影響で、何もかも中止になってしまった。

コロナ禍でもできるボランティアはないだろうか。オンラインで行えるボランティアなら、大丈夫かもしれないと考え、ベトナム人に日本語を教えるボランティアを探し当てた。

なぜ、ベトナム人にだけ日本語を教える教室があるのか不思議に思った。調べたところ、ベトナムでは、学校教育での第一外国語が日本語で、賃金が高い日本で将来働くことを推奨しているらしい。現在、日本語の習得が不十分な状態で日本に来て日常生活に苦戦するという現状があるという。

夏が近づく頃、近所のゴミ置き場に、収集が終わった後でも、ゴミ袋がたくさん残っていることに気がついた。違反ゴミのシールが貼られている。放置されたままで誰も片づけようとしな。次第に悪臭がひどくなる。このままでは大変なことになる。時々周囲の方々と一緒にそのゴミ袋を開けて、処理をした。中身はひどいものだった。缶、ビン、ペットボトルが全く分別されておらず、中身が残った状態で、そこに蟻が群がっていた。

この夏の間、私たちが何回片づけても、違反ゴミは毎日のように現われた。ゴミの分別方法が間違っているのに、なぜ気がつかないのだろうか。呆れるのを乗り越えて、怒りがこみ上げてきた。

ある時、近所にベトナムの方が複数いらっしゃると聞いた。もしかしたら、ゴミに関する日本語が理解できず、市のゴミ分別マニュアルを見ても分別方法が分からないのではないかと想像してみた。

市のマニュアルには、外国語版として英語、中国語、韓国語があるが、ベトナム語のものはない。市に問い合わせると、ベトナム語での問い合わせに答えられるシステムがないとのことだった。唯一、ゴミ置き場に提示する曜日ごとの収集品目表にベトナム語版があることを知り、早速もらってきた。

しかし、これだけでは解決にならない。他の都市部の自治体ではベトナム語版のゴミの出し方マニュアルがあり、インターネットで公開されている。これらを参考にしつつ、翻訳サイトを駆使して、ゴミの分別方法をベトナム語で解説したプリントを作った。自治会の役員さんにも見ていただき、ベトナムの皆さんの住むアパートのポストに入れることにした。直接会う機会もないし、ベトナム語を話せるわけでもないのでこの方法が最適であると考えた。その次の週から、違反ゴミが全く出なくなった。

私たちが困っていたのと同じくらい、ベトナムの皆さんもきっと困っていたのだと気がついた。どうしてゴミ袋を収集してもらえないのか、と。私たちは日本人ばかりの中で暮らしているせいで、日本語をあまり理解できない人がいるかもしれないことに意識を向けることを知らないまま生きてきた。なぜ、これが分からないのかと相手の非を責めようとしていた自分がとても恥ずかしくなった。

日本人は、ほとんどの人が日本語しか話さない。日本は日本語以外の言語があまり通じない国である。その日本で暮らす外国人は以前に比べてずっと増えている。日本語を勉強しようとして来ている人ばかりではないのだ。必要に応じて、外国語の表示が必要である。それと同時に日本語を分かってもらおう努力が必要だと思う。

また、私たちは今必要とされる言語に興味を持つべきだ。学校で習う英語は、日常全く使わない。身近で必要とされる言語を学べば、必ず誰かの役に立つことができるのだ。

この一件の後、日本語のボランティアの時間になると、私は今まで以上に責任感を持って先生役を務めるようになった。世界の中のほんの小さな点の私にでも、できることがひとつ見つかったのだから。